即ち熊石の敵陣正面に展開、一齊に猛攻撃を開始した鈴木、

方二里)仁義鎮(靈石南方二里)その他を攻略しつつ敵を東南方に急追中である、 鈴木、森本、小林、鯉登の各部隊活躍

側の山岳地帯を強撃敵前面陣地をしらみ潰しに制壓して連枝山脈の峻嶮に沿ひ敵の側背に迫つた小林、鯉登の各 息もつかせぬ猛射を浴せかけて敵に大打撃を與へ二十七日靈石に次ぐ要衝電縣を占領した。一方同滞線西 **雅田は同蕭線東方太行山脈を突破、雁城鎭防恒より敵の後方を犯すべく急進中の中村部隊の進出と相俟つ** 4の金はないと見られる。かくて霊石、中ののはないと見られる。かくて霊石、電脈と安慰 4年へ封縄する陣形を完成。後の最上 「爆撃、爆緊等の要衝陷落によつて山西岸戦の半ばが完成される。 に要衝を要失したので敵ば陣容建直しの暇もなく潰戦の運命。 たで敵が果してこの類勢を挽回し万県的態度に出で得るかご。 木島、森本の各部隊は怒濤の如く酒戲の敵の背後に

全に占領した 全に占領した

派を完全に占領し続き

山西省境の

日间監】懷塵、沃

に御念邦、神前に戦勝を御本た、大いで午後三時明治練賞

朝香宮殿下

大宮御所御伺候

明治神宮、靖國神社に御參拜

退却したがは舞石西南方小林の歌

郷した石県巫塚は、川翔、前連、館を攻撃し二十四日夜半これを指 キュの油島機能近の衛を撃破い 新職省境附近一僧の段明な帰郷 道戦を得職とする我軍に取つては 米たのは酸作戦の失敗であり、 も知れなかった、然るに近角

潰亂狀態

蠶業關係者會議 ける開合さる

及びその理由の並に新規道加を希望するもの でも本支へなしと認められるも現代整指定表励品種年酸止す 貧騰は三月二日子で織行のはずで |

激つた實際際夫氏(民)得 5の意 さの田冰祭え、これに伴ふ政民期 四、桑田毘作に関する件

し、極原投二郎氏(数友) 議争選

本日夕刊六頁

大阪の娘さんが結婚。語る

會は二十八日午前十一時十分同會 川崎东五郎氏 (民政)止以 明することになったのである
・
特が首相に代って投業理由を取りがやってあるんだ り同法案の拯嫌説明を行び、同じ きがきるを持つて確企機院機能

永井氏を副議長

刷計長を高性せしめ、資金の厳地 法案に依れば尚支店を京城に置き

に萬金を期し、半島には一個九干 而して 相當廣汎な補限を 有す

の貧肉の全力を最も有強に菱脈せ「越丘に反せざるや否やの脱嚢を有」の日本的な論職が動もす

定即も廣光なる動令委任が憲法の一只、國民の恐れる意のものは、

しかして回法案第一條には。國家一般?ると膽難、又その附加條項に一もものである

最近稀に見る緊張振り

行が受れまい。 | 阿敦鎮等々、懿敬の意義で見ずる法案の前途は可成り多難に迁命回 | 短処用機器の登具、確石を送出に法案の前途は可成り多難に迁命回 | 短処用機器の登具、確石を送出に

全貌國民の前に現る

問範衛に真つて列起され、更に時一気と続りに對する紙一重の精神的

殊に産金に針して は半島 が日本

の密義に一轉、新興庫流明時の全

する 定義並に統領事項が 極めて 然か

に於ては總動員物資並に築何に對これを要するにこと大概に関し、

張総理から謝電

ニューョーク二十七日河望了二 によれば宗美能は医康勝れ

に強の荒雪との協力のもとに観准 五田代命隊は宮田、横尾〇〇副隊並 日田代命隊は宮田、横尾〇〇副隊並 日 化崩滅、空間の雨湖上に遭ぎ出 三よりの我が歴れた機響に随を味 既約一萬五千を包御及攻中で就は 間、五河、明光を結ぶ三角地帯の んが、待ち構へてゐた我が歩兵部 に特別、我が後方原動を報じつ、「静に勝道一事これを襲撃する作業」 推開、晋司、明光を結ぶ三角地帯」に衝突戦の火撃を切り、敵を花淵 尾扇破兵部隊と協力のものとに血「陽、薬河後、明光三方面より、薬 持腕を期し田代部隊は、富田、横一あつた約一高五千の前に對し、近年 朝鮮の實情に即し

滅の運命にある 際の一套静樹に遺び脆くも四千の

上海より

再び爆弾に見舞はれた華美晩報社前

半島の計會権勢は漸大内地に接近一捌を指来したので本所は各種施設 禁煙法を制定 五月迄に諸規則公布

を養滅。【『部間二十七日問題】二十七日 の採用による半島施政の一大韓換一弊は依然として改さらず、農山漁一数上にも面自から四形響があるの 盤となり、寒に衰却教育を前提と「動を廻してめる際、一方には畏い」から教育を放任することは青少年して来たが事趣報整と共に退然」。と整備して島陽區民の精神作典選「の県本方畝に反し、現下時局にか 皆の難位下向の怖れがあり融資風 秋来朝鮮の質情に即した「統語」と

となる模様である

無事に通過 山澤事務官の歸任談

か官山郷和三郎氏は古七日であか

施問題は、朝鮮の時局に到する。 が野人に割する志願兵制度の質 た名朝鮮教育令故正助令築並に

尚は 改正教育合に就ては 相収調べ中であるが、事件は同時 に阻止されたので一時立歩うた

フランス步兵哨

【上海廿七日發本社 4 | が突血破解したもので、若ひ命中

人

◆南本法務局長 宝首席事務官 東上中任の答 各地刑務所巡视

明氏(平壤而護官頭)廿七八、外基省理事官)廿七八、 **削量**

氏である以上、宮城で

劈頭外相から説明

心得おかねばたらの 上が板を削りながら、 師方角は常に間違ひの のは絶對的である

各人の心症気、正に **罗**灰東 證明 京原 京 京 別 元 元 煮ねて糖質期下の御友情に承養自誦一億一心の成果にして弦にして弦にして弦にして弦に 政黨本部占據事件、總動員法案

答辯ふりを薩揮、凝員巡を関か

なほ靜養 國家機動且法案の

一議院特別委員會は二十八日より よく本格的の影響に入ること

をなすと共に更に関重を削して小部金割院總裁等との間に於て協議 案理由の説明に富ることしなって 結果、政府は廿八日间委員會の開 川種き些院を見合せること」なっ 心たが、首相風邪番しくないた。 なり、近南首相も之に田席して提 見報長は二十七日電話 内に於て関係閣僚

一附した、本府は田麥るだけこれが である。尚首相は病泉全族を待つ法論初め継續的質問に答べる方針 又は鰮野法相が政府を代表して憲 出席がなければ法案の振説は困難の頑大性に鑑み委員間には首相の 川委員長と打合せの上、廣田外相 市的確談は発れぬものと見られる 日相の鉄密が自長川で場合には政 あるとなしてゐる何が多いので 「あるが、何分總師以法案」中には同委員會に出席す

|年島独育に野野的の皮質を加へ民 臨原學務局長 日午後歸城

米上中の本府審議室主席年

中間長は、次配將軍の数額超を美事所決した

定法に朝鮮は割らでやる、朝鮮一々のぞみ々で暗破するとになった。 及ってゐる、その外重要維持特」如く一日主後三時廿八分京城縣宿と思ふ、和目の監はまた近南が「「サート」「一日主後三時廿八分京城縣宿 も対の関係の處が緩和された等

嚴重抗議を提出せん 發砲

既以に發稿せる事件が發生した、 目撃してあるので調査の5へ我がに於てフランス兵歩略が退が富雄。皆合せた南市大道市政府の獲官が しなかつたが、この事件は現場に

地支責

性りを解して思った 戦ひつとありとの非常 やらあ」 で
財介石の面の皮ない

大型一の敵機を襲破すり、正十七旦浙江省層州、江中型一、大田、廣東省韶県等を、王山、廣東省韶県等を 月號 言の 戰慄。聲 (議)錢五十六點·社友之婦主思恩器 统广円四分年4 円八分年一 电·库·法修 13 ぜ族でリ 息文文 ひのたかを発 御方はいを記 関は道の話や 中が く 適 日5だ く 本ださ さく御早だかなやいだ覧にく判断されたう



たのははなした。現ました 殿下の喪儀山階宮大妃 **伊黑選手**十位

同様で持続げるところを西大門署員 単で持続げるところを西大門署員 常習窃盗捕る

四十五尺の堤防から

龍中卒業生、謎の怪死

眞逆さま

~愛國美談集→編纂

丸甲板上の血吹雪

氏の公判延期久原、津雲兩

懸けない軍國悲歌

て神無事の凱旋符ちますと言へばあなたは雌々しくも 今度會与日本來等四月

音丸の熱涙盤!

婚興神社の花の下

1 5 H 20 , 11 , 11 H

久 男

四股接受分 外次會通 日本梁田将前身

朝鮮總督府專賣馬製造

京城驛前 セブランス病院

周病一切によし 産前産後、汗疣、火傷、切傷 神経痛、リウマテス、婦人

京城是谷川町京城中社 **蔘精元竇捌株式會**社

チの恐惧と用手の甲に僅かた撤過

和一項の栗

首

ロ内 家 御 用 達 の 外 家 御 用 達

廿八日午前十一時ころ京城南大門

南大門前で

トラツクに

陽春の訪れは先

んづセルの感觸から!

二階

天氣豫報一思

上り

の新柄着荷品揃。柄合の豊富な内に是非お早くしせれ、洋犬セル、國富セル、ミカド・セル等

品

の婦人子供服陳列

三階 二階

| 神召、小紋錦紗、訪問衣、繪羽々織、織名古||月||日より三日まで | 五階毗交室

香の娯殿地品會

装道与共同主催のスキー等の正式競技の外に緊時下ふさわ きのふ三防の大賑ひ 親友の留守 宅から窃盗 **顕夫ら二名殺死傷** 南西の風機には経

4

(では、まながよる町で11日 大院加税中ノ 魔巣石効ナク去ルニナ七日大院加税中ノ 魔巣石効ナク去ルニナ七日大院加税中ノ 魔巣石効ナク去ルニナ七日大院加税中ノ 魔巣石効ナクボルニナモ

月二十六日

大日 妻 河 東城府永至浦町四三五

M

江原道會も開

人豫算可決後の和やかさ

て人並に毛を発生せし「比較んである様なを類でよざい」のである、あるべき的「ました中勢のあつにことを非常のたが、ました中勢のあつにことを非常のでいる。

社 野 研 兜 藥 院 社 野 研 兜 藥 院

な深さらまに親底報紙に楽し種 気動な方も、一日も尾・正しいにお黒の歌で、その鰡みの大き かいくて彫刻を出せないといふにお黒の歌で、その似めの大き かいくて彫刻を出せないといふいたがに すっぱに手を生やしたいと歌 を促す事情を致しますとそれ程 ほがらかに楽しい生活をなさい生活をならい 電の設生 今日然の個分をお忘れになり、中のであります。然し毛の超 自総で出来る手際法に促つて、

ゲ、消毛、無毛の方へ 本例に効果者にき無なを主刺となる過ぎ、直に治療する主刺となる過ぎ、直に治療する主刺とする。 大安代理部語 事部 大毎代理部語 事部 O製菓法模技 V - 家庭防水液 コマク破れの耳も心配無用! ্ ক アーロー 1000 全国 大阪市港区の単純版 大阪 1200 全国 大阪市港区の単純版 1200 全国 1200 全国 **五合の米とトウモロコシが** 使用簡易·堅牢無比 (成質型各種類別目的更) (成質型各種類別目的更) (成質型各種類別目的更) 大阪市北北東縣 居 大阪市北北東縣 居 大阪市北北東縣 品西地 全名曾址

頭から浪荒し

議事錄に飛び出した抗議

続つて物凄い應酬

やかな道府會の横顔

全議案一氣に決可

初日は廿分で散會

⁵親的大發明

型錄送星

程 ほがらかに競しい生活をなさい かいて、 自手紙にして下さいませ。 御命 いいて、 自手紙で重相談下さい かいて、 自手紙で重相談下さい かばにも分られ様に交しいお住の がっぱいての影略を表情の で変態に進基率します。

か うすれば

子供はできる 姙娠の知識と體驗ある療法

力なのだが、このとうは、富真としてゐるのだが、8君の方はとう

佛蘭西邊地の老婆

川難した最もらま味のある時代で

ても、六十は監者の働き盛り

老いてます!

\ 熾な入澤博士

出品がれ即変に應ずる、たほ主

に鋭上花を添べることになり音樂によって、この回路

受育阿人のものした色紙投路展

Rが三月一日から大日をで三中

三中井の漫画展。京都

「ピストルと舞」(命る論でし)

品を注目されてゐる。造型美術

セタト撮影に入つたがこの意義る は庭々十七日から富士スタデまで

音樂は江文也 東洋平和の道

日、紅葉の時雨降る頃、東大橋長

もんだオーに見舞客も二の句がつ

して授賞者を決定競技し、文壇

つて、新湖貫御の光架を和田傳に て大きく情経出來る作者へ」とい と、兎も角今後これが轉換となっ

新湖質、芥川質が恰も時を同じ

新潮賞、芥川賞

のに對し、出席の審査員選は

その相關々係

完全に黨の統制下に

版、大川学人が「霧立つまっ」自集権市」は東賓東京作品で問題二主 一日から着側に封切られる「繊胞

鐵腕都市

大川年入郎、韓立のばる、山縣

歌の大目付役を眺め、野事政育

を異にてる 昨年小京片博士海

は、ナンセノスギ撥低ものを書いずから多の出る暴品高き其の樂散

獨伊間の文化交換 命に勉強してゐる。生徒中下九歲一第四回透難美術展が三越に於て

る。また「九畿以上の生徒にけた

造型美術展 五月末三越で

滑つて、感激をこめて製作に着手

映畵ニユース

を完全にナチス化することしたつ

関の任命にはナナス風の扇影を を任命する。被表を除・飛騰姿 現底徳の優等年にはローマに二鷹 解代表一名から成る神器諸侯の 現底徳の優等年には四して

ら引き留めるが、あれは政治家

四代が共演、山崎、小園共同原作脚

大阪浪花園は九時より十時、 紫素館は十時より十一時と聞いる

が出來るといふだけで好樂家にと

の指一本土地で、指の方はされて

子とボデルのクラーク係弓子の皆々委なる役人者々で合機マリ ●少女は樂部 (三月號) 少女軍

ていれいにいぶしをかけられて、

學藝だより

一个時のラデオ

元國所設ンギニュロボンテンとサア・エビエ 耐 會 式 株 酒 麥 本 日 大 同了二可本庭原本日市 京 店 商 郎 三 元 邊 田 社会式株 日 丁 三 町 佐 道 隆 頭 市 阪 大

EB 472

店商衛兵五邊田

高谷島多岸土窟泉

(分見学)森

高利用は工程を含品で、 一年の語気である 一年の語気である

ピストルご簪 一部する事になった趣歌中の趣

へは全然客りつかなかっただけっ

子供というのは、新しい知味

と云ふ事は、先づ類例のないこと

新興國策作品

ラエテイを盛ると同時に、國民精 よく解いてくれるし手供の世話も ことを旦那様といふのに不思議 機が会社なら帰っと、女朋 といるやろんなったの

舌子の母が去子の教育の

||別頭、肌谷草綱は、特作 ||本依る || 人形傀儡師|| のタラコ

本都市と最初の5gmm。 たれなければならないが、本 たれなければならないが、本

兎に角もこと二、三年の中にツー

優越性があるのです。

體はもちろん健康な人々も、エビオス錠を連用して字素にいいい から胃腸を丈夫にしておくことが肝要な所以です。 - 『便秘は百病の因』と問はれるほどて、病弱

1000級…日間六十組 別末もあり 啟問袋用··· らあります。 には七〇紀(五十起)



然のましの食物には含まれて居りますが、わ ることにあると唱へられます。との成分は自

は味覺の點から高熱で破壊したり、或

が減弱し就中一時の蠕動運動が無力狀態に陷れずイタミンB複合體の缺乏から胃時の壊乱の気が悪いとなる。 雪を吹き 株の はずイタミンB複合體の缺乏から胃時の壊化

びばらだが146のです。その結果――食慾は水で洗り流したりするため日常食物にこの

藝術 映畵 社撮影班歸る

『世紀の合唱』

主役は瀧澤修

会行時間三時間側の短縮素質施で│製作スタッフを決定、本格的開始 の姿勢を探つた。先づ原作 鉄、化粧代を節約して少しからこの假出来るだけ、衣 かからということは一

重傷した提琴家 東京語で別れた(宮眞は田

提歌に触れることは出来ないが、 明を必要とし少くとも今季までは

宿便を一掃するといふのではなく胃と腸の運動を活験に変酒酵母の製剤であるからです。下劑のやうに一時的に して自力で正常な便通を得せしめるところにこの錠劑の タミンB複合體の最高集積物と開はれる。 ありますが、それはこの鑑定があらゆいるりますが、それはこの鑑定があらゆいていますが、それははなが質用され著るしいに酵母剤エピオス錠が質用され著るし

は減退し、頭頭、頭痛さては筋肉の疼痛など成分が低少となるのです。その結果——食慾成分が低少となるのです。その結果——食慾 を惹き起しいつも不機嫌となるのです。

な常哲便秘に移行して禁養は我へ次第 には自然の排泄がてきなくなり、頑固 はより一層暖然な下側を奥へないことはより一層暖然な下側を乗へないことをうにして途にはその用量を増し、或やうにして途にはその用量を増し、或

に體力が低下することになるのです。

純國産











商品市况

(音片) 一、五〇 九、五〇 九、五〇 九、五〇

身を汚された妻

一龍齋貞文演

木俣茂彌鵡

早【委細型さりょしてございさ

盛りこそのし過ぎたが走も此の界一者は、忽ち何れへか楽を隠して了 」ひました。 早極は己れの家の前ま

一では恐りましたが、次、入り乗ね

を競得して違ったといふこと、戯』ルと中では観に失み、同様さんは是る機構が開催といふ奴が、お前 お、戸口に行んで居りました、ス度る機構が開催といふ奴が、お前 お、中口に行んで居りました、本に、戦くの間は我家へ入り範に減く止めてあるのだが、此處に一がして、戦くの間は我家へ入り範

二〇、七〇 事を、何者にも執ぎつてはにらん。早「私だよかでなず、早く前けて一二、五〇 事を、何者にも執ぎつてはにらん。早「私だよかでなず、早く前けて「九、七〇 ぞ」 な魔に我をが住まつて居るといふ てる「阿様で」といます。

何より、早く開けてやりなさい」 おてるは戸を破るばかりにして

はことにお在での武家に祖を述べ、てる質問せさんどうたさいました。那「イヤ其の醴を申すたら、其む、引入れ、戸をベツタリ締めて、 早一おでるや、安心しておくれ、 開けると、突然早淑の手を取つて

、其の風に悩はんば、剣頭にお観しましたが、さらずれば海病中の

| 「大大の | 大大の | 大大も | 大 入九仙四分/三 入九仙四分/三 かなすつて、 闘して下さいまし、 何に数せ流石はお頭、有難う存じ 破って、伸続人謎に気の歌た事を 外饰钱

次内地物(十枚)二、三八 安泉物(十枚)二、三八 次内地物(十枚)二、三八 が開いる。一た、五〇一九、五〇

何と考ふべきかはこれに関かれた、質

皇をはの調査研究は下 の打合資用かる、健来 は活用されさればり 行派が踏ぜらるべきだ

語り仕らん、四も此方質所へ登る

問題ではない、もつと 「利 Teれば其の次章ことは「器"物「民" T足郎、殿つて来たがご問題ではない、何を何處に商品 たさい」 「早 Tおでみや、安心しておない、何を何慮に商品 たさい」 早「ヘイ、貴郎に自然のたい事

外

務

献

員

招

聘

寄支部出張所又は事務所まで申出られたし。誠實努力の土を求む。希望者は凝塵書を添へ最信用ある會社の有利なる保險を普及せんとする

(在三十四年到)

□契約者配當準備金

三千五百十翁萬圓

削手より電流

四白八萬餘

產

瓠

裥

=

Λ

百

鈴萬圓

削手上り増加

· 千八 白六 十餘萬鳳

業

ます。

現現

在

契

i ij

十八億八千四百萬圓

胜

一個月を前の上

歌研究

TE S

研究

3555

三月號發

楚懷五十世 透料二鏡

法人登

は、「俳」の解語:演繹清晰 ・ 「時」の解語: 「東海清晰 ・ 「中代の最近により用語・「東海清晰 ・ 「中代のまり」・ 「中代の

(山口等) 本版 新萬葉集讀 被服 新萬葉集讀 被服 新萬葉集讀 被服 學

進高級包ェ子

13.3.

差額は一千九百三十五萬餘圓に達 昭和十二年度に於ける吾社の收支 **價切下げに振り向け、** 内二百二十万萬餘圓を財産評 結局

資産の内容は愈々充實しました。 繰入れ配當資源は一層鞏固となり 六百餘萬圓を契約者配當準備金に を擧げ其の九割四分强に當る一千 剩餘金 一千七百餘萬圓

∄: な る 收 支

贝 り 市口 收 □契約者配當金 Ľ 入保 入 誻 業 保險金 利 開起死亡に割し 勝手より 險 收入保険料に割し 收入保証料に割し 費 8 料 增加 一千四百二十一萬餘圓 一千一百三十九萬餘圓 一千三百九十九萬餘圓 一千六百九十七萬餘圓 M 七千五十五 一百九十七萬條團 一翻九 七百五十一萬蘇爾 門三 刚 萬餘圖 分八厘 分四期

賣發刊新最

太利讀本

2

0 1 1

務外

の如く順調な進展を遂げつ、あり 歩みを續け來れる吾社の現況は左 安全第一を主義とし終始堅實なる 法人登記公告 方法原外支德原州支德

藤

川川地域平東西野の一川地域平東西野の 落日の江戸城 躍る英雄群像 見よ!!時代に

口責任準備金 (機獎) 二億六千三百餘萬圓

柳年より 境間 約

一億七千四百九十餘萬圓

助年上り増加

三千四百六十餘萬圓

商業登記公告 方法院不康出張所和發聲或月或拾軟是能

を背景に黎明

日本の開幕!

千代田生命保險相互會社

友

膜 Æ

京市京縣區京橋二丁目

京城的南大門通二丁

問言語なる内容の範明は細申越次語頭逐り致します。

※原州支廳

商業登記公告

改 最 新

可 ス

三族職長溫出張所在昭和第

要争

サエーホッ装 ゲーブハルト密 ダニエル・アレヴィ著 野上襲器 法 へーゲル署 田村 賈詡 上五十段下六十段 ٣ 愛 班 田 I

デーキル博士とハイド氏スティブンスン署 田中語書 離れて時 料料 實際 **傳** 海岸 (上) 展览 选 料 方 十 女威 この世に二貫性格の人間が存在することでは、三貫性格の人間が存在するが、上の庭には人間負責性で、担心があり、現實への起い国質がある。 国人の興味をている対主要。

芝市京東 pin pin 七 橋 新 京東替振二〇四八

銀

片 装幀 最新 小大陸 賣

「妖蔵(小説)の四篇を收む。(『耳』即都電路大震な機器とて飛電機器上頭」 「妖蔵」(小説)の四篇を收む。(『耳』即都電路・大震な機器とて飛電性器・ 像に、豪閣では恭順・抗戦両派の大評定。 遠海には黒船の影。ああ一 を高良して痛快無比。他に、シイボルトを括「三十年」(最曲)を脱し 者が身命を暗した乾坤一郷の行動は、よく軸國を危局より致つて、維 者が身命を暗した乾坤一郷の行動は、よく軸國を危局より致つて、維 者が身命を暗した乾坤一郷の行動は、よく軸國を危局より致つて、維 を高見して痛快無比。他に、シイボルトを括「三十年」(最曲)を脱し を満足し、減私器公の愛國 を満足しのた。本書は此の息づまるやうな劇的經緯 と、豪職区眼、減私器公の愛國 を満には黒船の影。ああ一 を満には黒船の影。ああ一

这 料 十 四 核 3 競十五酸定朋— 錢 六 各 科 選

英西佛獨

南太平洋讀本 10 滿洲 讀本 8

(原乳十二サイント組)

ソヴエト讀本

Ą

中市米讀本





案外多いのが頭痛症の方で す。それも初期の手宮を忘 つたのに原因してゐるのが 多いです。何でも初期のお 手常が肝要ですから一寸し た頭痛だから三云つて放任 できません

殊に卓越せるものですの即効は、その栗効中でも、頭痛に對する仁丹とです。 頭痛に對する仁丹

著岩 沐 郭 譯夫茂枝松

コーニードAccessを見たればなられただ。 関係情勢の実際 がいて最適機能がある外別資便報的が、 関く別下の日本関係である外別資便報的が、 原く別下の日本関係に ・ 至順なる定績と相俟つて、 強し近後現金の好時息響本として 原して傾らない。

展定と言べる。 著材と簡単の単しさの故であらう。 背景が 成定と言べる。 著材と簡単の単しさの故であらう。 背景が のでなを見ると、これは小説ではたっ回題祭ととある。 な、その何級の翌年を化の面白さに故て奉ら小歌以上の小

会養會社居崎濟領部代理 右之運ニ陶壁線围積太御利用顯 供 見 丸 二月廿六日 廿七 阪 神 行 高杉商店回漕部 (出荷佛專用電話)

震體東大門出張所

新専業集後を議論

法人登記公告

話の上字 下手は問題でない。―― ミ云ふのは いくら話摘が巧みであつてもられないからです 相手にられないからです 相手にられないからです 相手にら上手でも全々優値があり

は第一の勢衝災です
は第一の勢衝災です

服飾・倉舗・原皮はか助手ー 門産に関係が際い、併し最も と置すべきは「限つき」です とは近の治月を十六本数せは よいが、然は六十二本動く、

34

in autoti

常に揺生ご手當が必要です。 に揺生では癒りません になず、如何な名薬でも五 復廃的に胃の悪い方に申上

「仁丹」は何時、何處での「仁丹」は何時、何處での表でも感じがよく しかも 真柄も漸次恢復せしめます 割病も漸次恢復せしめます こで で 直ぐ 解消するここが 円」で 直ぐ 解消するここが

「仁丹」にはビタミンBを豊富「仁丹」と常用して 今年こそ年申集の出る方など今から年年脚集の出る方など今から「仁丹」を常用して 今年こそ

李韶。 藏下仁丹學或會態

A

今年は延賀の感冒が流行して ・信頼します 抵抗力の弱い方は直 ・信頼します 抵抗力を強く するには世丹に含まれた興趣 か 即ち ビタミンB ホルモン ン サフランキの他の領収が ごが必要ですから感冒登的に にまづ仁丹で拡抗力を襲ふ

及スペインの正式承認を經、

と汾河の中間地區を南方に向ひ進撃中

敵最後の振點を失ふ

て南方に退却した蘇にとつては、小林、鯉登各部隊に駆迫され又西 語の競散重要地域で、舞石を失一命的打撃で非力から森本、鈴木、

いもこれを帰取すべく東北に続であった、我が中村郎

北方よりは〇〇郎原が彫造して来

領發表

臨汾霍縣占

日滿支三國提携して

東正復興に選進せん

交通網の構光等基本的部門の建設「催露化であり、經濟的には産業の「部門たる農産物の増進及び交通の「門の製頭計畫を含む

の覺悟を聞め、且つ『理想を同

防衛の量約により長期取

でず」の説明を設するや、満計園

推奨あるら民心は微動だらせず、

結束に施工路へ昨夏支那事題い

所の建設を

文學、日滿支三國共榮

に協力し、更に進んで新興支那政

乳日本の勝利を徐望しついると

滿洲國建國六周年記念日を迎ふ

|刑五ケ年國家||合の架化||を核心するもので、端||探金霄瀬亭の賽扇部門における場への第一年度の||その要職は「日浦総郡の合理的蔵||厳・総金襲・水力養電・パルプ、

に今や第二個難覧過程に入りける

ケ年計量をその内容とするもの、 全面的問題にある、後者は熊洋五

際国をもつて石数、石製機化、製薬風」を限用される液金線製二十五

豫別以上の成功裡

甲支新政權

【影像二十八日同盟】登古の祭師を発布に帰はれ聴くも敗退した第二輩展副禮司を衛立城事は臨汾が我が中村部院の

衛立煌軍南方へ退却中

包閣圏内に陥り、今や全く潰滅の運命に逢着し、その大半は潰滅されるに至つたをもつて南下中の我が○○部隊によつて西方への退路を遮斷され、一方中村部隊の臨汾占據によつて完全に我が

汾一帶の敵は袋の鼠と化し全滅の態勢にある豊子人自興之二十七日午後七時我が中村部

中村部隊は臨汾を占領した、目下臨

北の中央山西共産の各軍は中陽、隰縣の要衝を占領後、連枝山脈と黄河中間一帶を破竹の勢

北京一十八日同盟)我が中村部隊の斉襲により臨汾も塞に陥落した、去年十一月山西省の省総太郎が路落して以來第二職與總司令盟総山は、

臨汾(平陽)を占領

四日午後一時五十分毎用版を列御遠離あらせられ、前日の列御遠離あらせられ、前日の選挙には畏き御思召から御問

以来薬山御用砥に御航戦中で 静器を牽棒し給へるこの度の 횇肥穀の機を御坂止めたたりに除下御織ひにてよう十九日 せられるため 天皇は下貿鍋 られるが、時局を思召され拝に出するというでは、天皇陛下には皇 隣下には自下御藤堅中にあら 三十五回の御殿配を迎へさせ 天皇陛下五日還幸 皇后座下は四日還啓 一切行はせられぬこととなっ御服整のため、御塵威の僕は 急致のみに御内定のところ、 朝香宮殿下に

の事理技生以来具軍將兵と共 電を流せらる」皆の御火電 朝行宮版下御附西武官より 今回海凱旋遊ばされたの に起きが山腹相以下標準大官、多の配下には有難くち角動物の御言葉、 を思はり終って三番草は腹相官証が、 のを約三十分に亘り報告、 残具官

指 伊'佛'米の引 撣 官

毎日飛行機の租立に多忙を始めて によれば、蘇聯人飛行士に日本樹

のら続村に最も影響ある各河川、

T_K

◆新學期開始◆

と勝り全員徴成、企

1、亞際第子代部別 1、11〇〇町歩 出 一緒する美雄補助政は一場防工事が等限期されて90首都

があるとを質問した外間日と同様 があるとを質問した外間日と同様

特典 附 特典 附 特典 附 特典 附

「反響補助額 一五関)

希恩を述べ四時五分数官

軍渡を占據

の、指導員手食補助額(五関) 、那座菜材手数置實補助職九、〇〇〇周

千萬圓融資

日本産金會社の事業計画

四日夕刻には山西省塔波河々畔軍

總動員案委員會

軍令部次長訪問

丽指揮官

を占据した

14、二十八日午後一時五十五分 東京電話 國家總面自法案委員

・資金融通昭和十六年までに機 ・資金融通昭和十六年までに機

秘密會を解く

かの

南院

分科會早鮮關係。当問

人

滿場一致可決さる

廿八日の京畿道會

上部サ八日子武特党】中支政権 | は公義の時期に至らないやうだが | 政難はこれら私財提供を主要示

要人心態度を闡明

程と確定的である。上海及園府が一度り、見つ園園開展の数化など

財産への執着からなに膨脹を明か

事項の第一 體含を 適行陸山相氏

と緊急動跳を提案開発一致で可決

であるが、これを延長 ・ 超極調業として十萬圓 員(水原)道路翻要費

松澤外務部長談

を承認する旨を発明したる問題を承認し近く獨國が亦

會期延長の

目覺しき發展

世界にその比を見ず





慶賀に堪 情にたべざるなり、之金く上年記念の佳節を迎へ衷心腹質のに日に進みつ」選に難関節大助







いと首はれる。西安にはソ那陸軍

B1万面へ登載されてゐる。 | 新校指揮の下に大飛行機組立工場 側の申出に對し、或る音はモスコ

▲宋縣縣氏(靏州)二百四十萬道

君さ盟邦の 健全なる發達



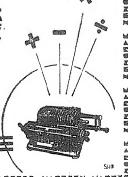
己もなるに至るであら、世日以後権々重要をいり

MARKE

貴族はへ送出され

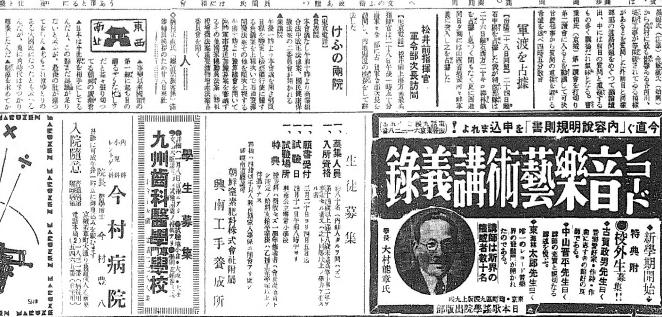
この転すた認識が足り ▲尤もこれ位ゆとりの 鬼に角棒代はすつかり 既になったとも云べる が、最後の肚が損つ

くちゃ、大事業の目的 だし、本金は国気物であ んだ▲耽慕を求めてか れん北支 鯖路 有資計 らでも叩き出せる。 ようなんで事はもう





り切つてふる



朝鮮産業への認識 更らに徹底せよ

性が認識せられたこと れ、その地理的重要性が確認 韓に全護弁に報告され、窓職が非に於ける愛國運動は、 せらる」と共に、問後の必然 既が陳安維等の題目に乗せら の的となっているのであるが 月續いて、年島の東落費 罪さして登場したのである。

比較して、朝鮮は物資乏しく る。内地に接ては前來台灣に 目の統治への大きた収穫であ なた人概があり、所謂意別 無絃風土からんでも、前者に

職時の常理化により、領鮮の のは一再でなかつた。然るに

り 段幣に頻達したのであつて、 して観いられんとする。第一 して観いられんとする。第一 もとは云へ、黄葉の標準に又時間の然らしむるところであ 利に回腹に切べざるものがあ 権的になされればだられること青年朝鮮の推躍は、之から本 の時に當り、帝國議會に於て、 新しく建設さるべき各種工業せしめると共に、半島に於け かいってれ、 問要の方向も明確 は非常するとなく進行するで 村資金階通により。年次計事教権の増売は、政府の政 今後はこの方向に如何にして 即發端保を要うるものは難く あらうが、この外更に資源の 内地資本を導入し得るかい考 野的経験による資金需要の自 死されねばたられる 走会並に だ指示されたのであるから、 いである。朝鮮産業の頂

走令孤興法案、特殊職用產

要は一段と解感される現状に 位勿論考慮されればならぬがればならぬが いる方法をもつて、郷ぜられ のもの斑る多いのであつて、 内地の企業と技術と資金の して内地資本の様人が、あらが急がれてゐるが、之に併行 産業の各部門に亘つて、個成

法案に上つて、朝非に埋蔵す

地下資政の多角的豊富さか

界に押退めて、認識を徹底せ 之を膨へて、騰食から更になべからざるチャンスである。 とは半島にとつては見透がす の質能が損害に認識されたこ しめればならぬ。即ち豊富な 期かる時に続し、朝野成業

朝鮮飛鞴が中心となって全鮮 最も大きな襲撃である。 此際 ことは半島特殊のものであり も窓がせにするを許される を総合し、連てかに具盤的選 みであつて、之が開酸は、

並にとが変量の概要も不可缺 計量するところまで、押題の て安んじて自ら半島衆出しを た役割である。現在朝鮮に**要** は、もはや役所の仕事でなく らるべきである。 こった至れ 本質を把握せしめ、彼等をし 性、云ひ後へれば背年朝鮮の る。近畿の安全性及びその特米

関策の第一級に駆するものと 求せられてあるものは、悉く 的性質に良好ではないが主要成分

五、中生居土壌、慶何道に最も関 に稍や豊富様分吸収力に強い

裕板岩真岩 暦岩よ り成るものは

はないが美分の吸収力比較的に

王要成分の含量は一般に飾り多

マスラッション マステル では、 一年 では、 日本 で の含化に少く物理的性質ら不良。

関外社にも計則適用

大規模計量の水利間より大に進 二火山岩類土壌 岩種は主として

的性質を各の地質系統別に記せば の倫通にる指導格競も亦之を修門 いべきではあるが客和なる水利型 土性の概要並に其の埋化學 ぎ物類的性質は不良なものが多土壌は概ね唯土にして重粘に湯ない 解州島は全部之より成り中央の

に付すべきではない

の井戸を弾も之より汲み上ぐるの。と認むるとき、毎月一人宛を動員し、あり地方により無々として一定し る、又続地の一隅に真匪ニ門内外」人で監督とたし院督共の必要あり。帝よりするあり或は中徳よりする的状を設け以て謝蔵に供するを見って、彼錦の内景を有力だる者を選 河川の水を利用するとき 上述の

の動具に参加し得ぎるときは若平。されたる原に総かものの様であるて其の修業に常らしめる。若し此。ない、之は其の帯が開戦或は變換

水を河川に求むる場合年に三四回一性に全然無阻保に引用される場合

其の詩果は動もすれば地勢並上

が多い、果して然らは天水の利用

上相當の浪費が行はること把像

更に条件を通じ進沼に一時一之を利用する者によって負擔され一を來たす

Ш

る、彼等の内最も有力たる者を選

朝鮮土壌の概略

て廣いが現今耕地として利用さっ、花座岩類土壌、其の分布植め して難ら放牧に供せられ郷地は海寒が川の四脚は微傾斜の末郷地に に伴ひ各道に繋れ其分が極めて、太古屋土頂、は花崗岩類土墳

次の知さものとなる

地として利用さる人は頗る狭い一度いが多くは高峰機器を作し耕 に少くけないにかくけない。 多くは平坦な客地又は平男な丘 「東京支社職」 商工省では本年初

出荷統制を强化か

置によりては塩質壌土支は増土

を異にし特に片層青楠昌片岩花(ang 緊部激化膨光にようする文化が方により地形により実の土性、以来セメント價格由荷比部凝につ、其の分荷糖めて廣汎なるを以て、「原京支討覧」商工名では本字初

さに放て水理一寸一日一人の球型。微型を観行する。

よつて水位が高められる、

共の

夏間水生に不足すれば監督は闘

を是正すると共に水利の無限を調団環に至大なる関係あるを以て之

水の激派は赤緋地の風徹並

の半部に木柄を付して水を汲む之一一は個壁跡の分岐壁に於て之を行

其の方法に二つある、其の

北洋漁業の國策會社

實現は不可能か

を関類し得るのであつて、文全を召集し、洋炭県動綱の基本競事つて居ればこそ、諸外國に販路 四月初までに瓜栗山栗紅地委員會日舎及びその他の民間顕著が行 に取式の欧第美具會を開き 見れ

に正式の改剪委員會を開き、更に

を辿めつよあつたが、鬼々三月中

養養員有小委員會を開催し、機計

では、
 では、

 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、
 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

もかくとして現在の鮓燥確結は足る場合は、漁業権の職保はと

ては極えてあるを関かの安全統亡 「駅の小たるものに於て監督に対してよの徹底を顕成する 変要するに其の方法何れも原始的 | ひ他の一は全港電路を數賦に分ち 版とするが時に東け楠に張々支機(名が原を追うて酒を扱舞ふのが常)に離くはた。

終日を要すれば、関係歴史中若干 の修敬が餘後なくされる、修敬に

揚水

はツレに依るを以て

一

の番は新版を相き高位の番の指は

俗に水を揚げる之に於て屢々旣位一の金銭的支田が負換される。狀が

更に描たしきに至れば比較的高さ 例早天に際し所在に雅取される、

半官半民では經營難

普及向上と工業教育の革新に快

に於いてこれが引上を考慮する 九十四、五銭一國程度の穀像内 多少の引上即ち現在の平均市慣

れ情ぐるとと。手牟の英帝は過越の の佳はざるところとてはなく、年 | である。若盛りの國は着人と同様 | **る實行**力との二つであることに云 々生れ出る男女の見覧は、都邑の一生新にして、豊富なる企践を要す一ふを吹たない、國民志氣の記録な 我が関は内地も朝鮮も将又高酸一て、既に人口的老我の我を現はし、果して然りとせばこれ等のことを |知らないのである。「二人で結構」である。その包含登場も亦快して 居れる西歐語範國に比し提に生々一克く實現實行して行くものは何か 三人は多過ぎつ。などと探し、國一登略とは云へない。そこに海外致 民各自が人為的な出面が限を行ふ一般の絶對的必要が呼ばれて來る。 | 設民の 旺盛なる志氣と、 果敢な らざるものなることは多言を受し ことは勿論、國防上も亦使ぐべか 等の張力が商業經濟上有要である 力が要求せられるのである。これ 進行等に 就て、もつともつと 强 自動車、飛行機等の敷設、製作、 も、土地の改良利用、鎌道、電景、 相互共衆の質を繋げしむる盆めに の光質にも、善経済洲風に封して 遺憾なき我が解論を施して行くト の他はないであらる。関内能議

分の保持に出で棄わて連結による

果敢なる實行

るに由来する、其の結果降雨にし 王骥の風化の智道を企削しついあ 小博並不安より能ふ可く多くの水

「顔質ならんか平年に於て用水の

山間、渓谷、砂湖、岩角までも人|慶萬の岩盛り園であると云ふべき

を實行に移さざるは抑も奈遵に其

分に之を認めながら何ほ且つ之

を以て豪雨に際し適宜に排除する るを見ない、多くは掛け流しなる

小の停滞は突れまけ泄艦の害を大 の便はなく番の流失を職し両も用

科學知識の普及と

工業教育の改善日 **慶尚南道內務部長** 大

に歴民は冬季の耕居並振水が稻 2良好なる結果を鑑うことはす

の原田が存在するか、要は水利の

の革新 物理化學教育

。近に双路に付す可からする問題と | 内地は毎年又は曜年に一點分づつ

の人口が強へ、朝鮮も日歌併合以

ると共に、図内工業生産力の飛躍しるところがあるのである、この果

信号られるのである、現在技術に対ける、物理化學的表情を以て、最も透極なりというには、関氏高等と訓練育等及向上は、関氏高等と訓練育

へ居られざるに基因するものと | 於ては、青年男女中高峰貴連載章 | あらう

益國内長業生産力の改善選歩を聞け、果敢なる實行力に於て不足す

展開に脱して却つて減収を招く、 # 然り、價極に高き美価が降雨の **ぎめ却つて水稻の田覆を來すこと**

にも、漁師原にも充滿して居るの

大路小路は勿論。山間の村の駐選

る、同時に又その被風と住居とを一る話に於ては、その人口増強力が

|原家の經濟は尚より授民經濟上 | である。しかも島國の有難さに、 | 要求を光足して行くが協めには、 | 比を見ないであらう。唯憾むらく

要求することも勿論である。この

示すが如く、おさらく東西にその

のは雨季に脱し空氣の透道に阻む 質亦良好素分吸取力も中位に在る 般に主要成分に置み物理的性

ち度く耕地をなず割合も比較的四、古生層土壌、平崩並黄海に最 を以て属々作物の生育を害する慍

すが小地域の貼々たる鰐田をもと腹く耕地をなすお合も比較的

主に領土に多く重钻にして物理

遊仙炭鑛を改組 岩村鑛業を設立

今吸収力は取る強い 主要成分は岩種によりて異るが変 増土又は埴登壌土なるが腐積質

は古生暦中生暦大山岩一く其事業の完成を切望して止るね 概を得たるの推造にして一刻も早

种理数租赁布数型数信省

四月中旬開業 の順方 筋卸順川 友店 前乗競行

で、東四地の原土項・主として成「香煙解告、財産自務、作情・照べ」は近に有表的であると 「五二國七十二茂也」 「本語のあた」である。 「本語の地で、「本語の大語などの地で、「本語」ない。「本語」ない。 「本語」ない。「本語」ない、「本語」ない。「本語」な

平安南道全籍道の西部並南部は

第三起展第四起古居太古居の土頭 も多く太白は茅四年新居の土壌之 類第四起新居の各土壌に最も多く は花崗岩類の土壌に設

政も第三紀暦が四紀前層の土職と

石灰・並苦土は東四紀古暦に

防空器材献金

耳面踏上,安山面內中里 非正面面院那些、財利院里、旗一十六圓五十一段 咸南党山

五回七十二錢也 TI 終業 整 終 會

洋灰改善委員會近く問催

規格統一等に関し協議があつた 撫順被電所擴張

足は新設される競技江水力電視な 横元は今回限りで、今後の供給不 の酸電能力を競揮してゐるが、 つ推加整電所は現在二十三萬キ 進めてるる。しかして同義電所の 並に工業界の競展に重大役割を

事物打合 食器所事務打合

夕刊後の市况

明 高 ・ 元のでは、大の元 ・ 元のでは、大の元 ・ 元のでは、大の元 ・ 元の元 ・ 元の元

で開催することに決定した 館新にの大きなせた1つよので東新に発し、元さいたというできた。 朝寄 元文 5571 8072 元文 観報 1807年 1807年 1807年 1807年 東京 1707年 1707年 1707年 12年 1107年 1707年 類石 10七

川し就れる底の極めて非效率的な

要し、我が興富の現狀を以てして「教育の如き、非效率的な物理化學 建設費と相當多額の維持改良費を一今にして この馬を用ひさる 既に具眼の士の絶叫し來れるとこ は、戦略之れが一集四成を増する一科教育に大革前を加へなかつたな

|新するまでの関係を異一数要を異へられて居るか。現状に「もこれを取り除くことを得ないでは、居れるも、之を手、関係は知何にして一般科養知識の「なるこの聴害は、つびにいつまで記載し、原体だる一應「

たやすく、おいしく 出來る

本社寄託

献金 | 廿二日扱

皇軍慰問金

本十国(図域帯面自動画) 京城府西四町一六六 高町山州 京城府西四町一六六 高町山州 工十国(こと5明・贈じ代へ ・ して、 こと明・贈じ代へ ・ して、 こと明・贈じ代へ

日情金 百二十一圓五 一圓五十段全川韓國學及等

累信金 七萬五千八百 五十五圓七十七錢也

5 二個 汗源道系川郷北山面頭機 李 霽 数 李 霽 数

製造楽組合中央育、朝鮮製料協資となり二十八日午後二時より置体 と機に整結要想該分を開催する事件所以表示と析器体制では原整値製造所合議 朝鮮震然薬の仲既せざる原因

関変的に大たる差がある。この 要素薬統制法に依り統制せられ であるにも抱らずその間取扱上 であるにも抱らずその間取扱上 であるにも抱らずその間取扱上

外社もその出荷観音景楽区の原題社も盟外も同一東接いとし盟

の洋灰改善委員會に出席してある。

なつてゐる臟條と更に朝鮮の主要については内地と協力することに

聯合資加盟各社の如く納金を納へこの數量が顕縁と喰い選ぶも

鉄制法を施行しており、洋灰統制 府も内地とは、同様なる重要点装が、朝鮮については昨年以來總督

しかして古は内地菜者のみである

燃きたてを觀きますと、赤玉ポートワインの良い驚力が出て、火解結形 を充分敷き、其の上に取出し、夏に上部より片葉粉を振り掛けて軽く坪 智料と分量(六人前)水餅(窓水に漬けて貯べたもの)七十复。砂雪五 Pのでもよろしい。その餅を水氣を去つて「蒸し器」に入れて約十五六 って接進めます。倫、四五日も趣つて周くなったとは弱火で続いて、 ILT淡赤く色をつけ、大に四角な流し箱か會席臍の様な器物に片架粉 に白紙を花型に折つて敷き、その中に湾宜盛り入れ。小枝を少しあし 加へて貼く摺り、 **個蒸して充分軟らかくなつたとき取出し、摺り鉢に入れ、砂塘を命々** 小枝。 **友。赤玉ポートワイン下勺。食料紅少々。片栗粉適宜。白紙及び小に** いただけます。ぜひ、お試し下さい。 て二三分位の平にして一日ほど置いて後、適宜花型にて打ち抜き、お 榕 水餅應用の赤玉ポートワイン餅 (宮眞・右) 水餅はお正月の御鏡餅や小餅の建つたものを塞水に漬けて貯へた 一夏に赤玉ボートワインを同様徐々に摺り変せ、食料 酒萄葡養滋味美 ワトーポモホ Æ 應 ち (案) 生光光徳 辻 長枝枝樹舎別ルビ堂 (寫眞・中)

ほど蒸してのち取出し、椿の葉のきれいに洗つたもの二枚で挟んで一人 個に取りわけ、水で塞を能く取らし、薫朗寺を縛く押へて丸平たくしてけしたものを十八個に取りわけ、丸くまるめておき、先の薫明寺も十八 **防寺を加へ、ざつと交ぜて蓋をし、売分むしておき、次に自あんの味**引 少量加へ淡赤く色をつけ、一度煮立て、すぐ火よりおろし、その中に道 致法 **各科紅少々。道明寺一合五句。味付け白あん九十名。椿の葉三十六枚。** 14時と分量(六人前)赤玉ポートワイン五勺。砂糖三十匁。お湯一合。 □三個づつ皿に盛り入れ、 れに自あんを包み、蒸し器にぬれ布巾を敷き、その中に入れて十分同 赤玉ボートワインと砂糖、お湯を鍋に入れ、食料紅を水溶きして

おいしい一口 カッレ 'n (宮眞・左)

著各函宜。赤玉ボートワイン五勺。メリケン粉一合。卵二個。生パン粉

質料と分體(六人前)豚肉(前も5のところ) 九十包。塩・胡椒・味の

タには何もつけずに赤玉ポートワインや塩味のついたまゝで戴けば格別 たものと共に盛り合せてベセリを一寸色取りの爲に添へて進め、カッレ 懸くはらひ落してから煮へた揚げ油の中でざつと揚げ、狐色になり、か 製法 豚肉は小切りにして塩、胡椒、味の素を振りかけ、しばらくして 初の主ゝ少しつけ、次に卵の潜き汁をつけ、更に生パン粉をまぶして後 から赤玉ポートワインを振りかけて又しばらくおいて後、メリケン粉を (フレクタス) 二合。揚げ油三合。キャペッ又は白菜。パセリ。 (になったとき取出し、點い所をキャベッか又は白菜の翻切りにし

日土で(五路ギャラリー)

高久京城稅務署長談

俸給、給料の所得は從軍の日

・洋傘とショ

春の感覺を取入れた

又は其の同居の家族が趣名こ五十頭以下の者に張り、管部

催し物だより

他の側の地面が沿落して、盛かといふと大同年間奈良ほど ことがある、その時、嬰脳寺 物のはじまり

名稱が起つたのだと解べられ行つたさらだ、此の時芝居の ひをしたがまづ三番里の舞を

例所得が全所得の二分の一以下の

と合せて所得金額三千頭を超へ



美しい歯は乳歯から 赤ちやん時代から歯を磨けxxx

間ものが金盛で、院り柄は昨年よ パラリル 郷は倒年とス

ショール 依然としてレ

とついて一々調査することは困難

明伽でゐて緊貫味を失けず重厚な

に張くなつておんじ、黄、ブ

ことが多く頭骨が萎縮して容認

に落ち、水に入れると底臓だる自

者がし、薄いクリーム色でよい空にで器に入れる時にブーント

州のものでも、新鮮に放乳は織む 添わやんに與へるものでも料理

煉乳の鑑別

日以後山征された方でも所得決

利入學のお子さんに

多い淋巴腺結核

わばなりません、然し三畿十四歳 固形物や御飯を食べるやられた

ライメンドバタとサラダ油なまぜ



飛角の發展 戦記 大豆 飯塚勘一郎 東西

異ふことが少要です、色々な頻繁一質といふ言葉で云ひあらはしてる

せて、生活の變化で軸端が過度

前に健康状態を一通り診断して一

があります、狼精性健質症は暴病したびますが、入つた場所の淋巴をつても、卵精核とはたいぶ隔り、之をコルネット氏の占是部位法則

一般に止まつてるてわざをするため

淋 巴暴競技・同じ精技とは | 身に膨胀を懸さない 百人中二十人は罹病

かりひいてみるといふ子がありま 思いといふのではないが、異邪ば り配権力が被遇しますから、

上手鮮かな駒捌き

種のいでたちき軍隊の荷物

淋疾は何故、全治が困難であるか。

男子の淋疾は尿道内に潜在する淋菌を徹底的に

治療法は一長一短あり從つて淋疾は容易に全治 撲滅する必要がある。しかし之に對する從來の

> 云へ、それ以上の方法があるか。 效果は頗る遅々たるもいである。 し水溶液では直ちに外部へ流出するので、

14月(2日 群山)日 木浦 日 0回多流射船 尺等—三角铅船 额 五 九次第月二日山四日 新 五 九川空日大連第月 日 日 新 五 九 十川空日大連第月 日 新 五 九 十川空日大連第月

○大座・青島行 | 一時期 (水龍中)

しないのである。

いらず山の乳でと類へたり、 子供の思い習慣として、いつき

過ぎない。故に内服薬のみにては粘膜深層に潜

故に、たとへ效果ある洗滌、注入藥にても、

之等は水溶液であるために、直ちに尿道外

注入薬は?

出し、其の殺菌作用は、一回値かに敷分である

必要ありとされてゐる。しかし、その質行は到

d尿道へ入れゝば極めて容易である。

の細き管を作り、其の管中に粉末を充塡し

管を尿道へ挿入する方法は?

つのますとすり、もつぎゃこの床ととも質しの教育が経過、最初におけれている。その方法として、直ちに溶解すの教育が経過、最初、元川首省維集古明、粉末其まゝでは尿道内へ入れる事は到底、最初得では、一川首省維集古明、粉末其まゝでは尿道内へ入れる事は到底、高額得で

にて淋疾を全治せんとすれば、 一日七八回行ふ

等にては根本的全治は困難なりとすれば、

男子の淋疾は内服薬

その療法としては、第一に尿道の粘膜深層に潜

危險と副作用なきものを條件とする。

銀と色素の化合に成功すれば、右の方法にても

ル一般患者に對しても大脳音と稱すべきであ 問製された事は、専門醫及び専門外の醫家、 **得もウラルゴールによつて快心の結果を得た** 、初感染は勿論の事、數年、十數年の慢性

は枚擧に遑がなく、質にこのウラルゴール

他の注入卿に比し、その殺菌效力は數倍する。

内へ注入すれば理想的か。

では銀と色素を化合し、之を水溶液として尿道

銀に色素を化含すべしとは最新の學說である。

しからば、その銀剛を粘膜に裸達せしける方法

運性が後弱であつて、細胞組織下の淋菌を殺菌

從つて淋疾の築品は銀を主潮

*人、感嘆の外ない。しかし、之は單に理想

朝鮮郵船株式會社

2、 潜疾治療界に非常な勢で名聲を高めてね しいまり、質現不可能の事ではないか。

ウラルゴール(日、英、米、佛、製法特許)

との最高理想を質に具體化したものであ

一、感染接早々の患者には短符十本人を使用されたし しかしてウラルゴール関特の效果と使用法は表の如くである

特什











必讀すべき好個の參考資料 専門醫家と一般臨床家とが

U. 1014

◎ 西鮮航路

日間

を発展し

代金引換にてる道ちに適陥すの(前金許支は感情な証責後) 所に最切れの時達直接費受べ何罪文されば 類性を左右。 网 HI±00

本入(明子慢性及再發用) 本入(明子慢性及再發利用品)

闷 間

OEACH! 〇円七五

OOTH

かに大量入、病院用あり)本入(男子慢性固疾用)

本入(機防用)

カラス パーガ 11イ 付エト

ウラルゴールの種類と價格

に就て

東京市日本橋岡本町三ノー 合資 會社 活動郵船出机 機 與 九 三月並五日 機 與 九 三月並五日 機 與 九 任 費 克 電電、電車包 石林區等重机 等 6 國 风 九 任 費 克 電車、電車包 石林區等速 等 6 國 风 九 任 費 克

説明書進呈 H

發賣元

種貿易而

接籍日本語(七四八 七四八 七四八 七四八 七四八 七四八 七四八 七四八

国体影響株式会社代理店 大き汽糧株式会社代理店 (に川友店回標)部 (に川友店回標)部

每年千二百六十町步に植栽

平南道の對策成る

歩に生長力强大にして坑木川林に

陸軍記念日

開城の土地詐欺

時間に選み防空知識の徹底を開

悪條件を克服して 道政始まつて以來の新記錄

交通的關係より、依然一般經濟

第二區を貫流する

忠北の新年度豫算

清州出北道では十三年度に極

内鮮一體を具現する

三割以上

金知事の演述要旨品

躍進を語る

排水路の運河化

が関連されることになったのこ

水原の防空

放火狂婆さんお繩

告井子軍子 **雄の**信作と指導によ 上川 | 仁川の生人た天子的 舞踊



【昼間】昨秋以來攝影形内の鱈血

鰮油肥檢查要望

食能の委託署首として本半度経二

日本高周波重工業城津工場

速成樹の増殖

進をはかると同時に應用林憲物の|「那計職を完了」だが、その改成「共的漢で、アレンド、リッテ、八里婆」で南道では河山琳瀬の促一十六萬本の道水と賈邁「美生所業」に限して脊髄(鞭軍で崩弾)力差を流 上ケ年計畫を樹立

豆タク出願 、確かな企業家を

府當局の肚の

燃料は勿論、整股上必要だる飼料

易い、それに大物の成タフやんだから単独の情却に買

年度の領導も別議するはずで

は不可能―の報に官民不満

道督の措置を注目 源で多大の期待をかけられてふ

野兄共同監督【呼子島】河井街三 二回《新興大祭作督恭子時、久松 瓢(館 【仁川】一日殿り妻夜

太

炳丙佐明東龍 炳國 形竹 利晟琛圭大根勝基 善 郎治柱朝耶煥德周資圭泳三郎郎一信吉肇郎漢雨璇一泳佑元盛奎昇耶

本 口島谷野木田口井 俊 賢 次 三 隆 麻 三

優等生は左の三君幕相随、

クラスの臓臓

クラブ燎

H 磨

五五セン・十八

セン・二八セン・三〇セン・三五セン

十八セン・二五セン

第一二一四七四號(ヨードチモール含有額層) 第一一五二六二號(クロールカル)含有額層)

クラブ半線歯磨

及りでする

商、大鵬南等を下間に示すやうに能く死滅され、 1987年、仏皇の代替を表表と、連邦はない、 1987年、北京の代替を表表と、連邦はない、 1987年、1

クラブ歯磨ニ配合セル殺菌ノ威力

ョードチモール)併用劑ノ殺菌力クロールカルヴアクロール

かも無害です!

暦なら……祭用のクラフと御指定を頂いてる際と、中し出られるほごです。小學校でも歯磨くと申し出られるほごです。小學校でも歯をいいます。などは、こてもスッキリしてゐますから、むづりが、さてもスッキリしてゐますから、むづ るのも道理であります。

	509点 稀 稿 被	1.800 倍 器 程 被	5.000 倍 稀 釋 液	18.680倍 稀 网 该
チフス質	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全孔波
化银性迅机状球菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全狂滅
葡萄狀球菌(白色)	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
大 腸 笛	完全共滅	完全死滅	完全先減	完全和被
肺炎双球菌	完全机减	完全死滅	完全死逝	完全死滅
個性サフテリー菌	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死政
加答見性球菌	完全代減	完全允減	完全允減	完全死被
結 枝 何	完全先波	完全死滅	完全机波	完全死域
乳酸脂物	完全死滅	完全死滅	完全死滅	完全死滅
其他ノ鷹数筒	完全死滅	完全死避	完全死滅	完全死滅

殺菌力から違ふ!

特に喫煙家のため

泉氣を情播して、何時も異珠のやうに髭々しい歯並となる。然後して、何時も異珠の不愉快なニコチン色とめいたします。野原教学家・二十分で みをつくつてくれます。 又、お煙草をお好みの方にもクラフ歯磨をおする

びョード・チモールは結核やチブス等の時であります。なぜならば専賣特許の薬磨であります。なぜならば専賣特許の薬磨であります。なぜならば専賣特許の薬の臓を補強するのは勿論口中の健康を保 をもつてゐるからです。
惡疫豫防の見地から云つても優れた性能 こと…薬用クラブ歯磨はムシ歯を防ぎ、 腔歯牙の洗淨研磨料であったのは昔の にこゝろいたしませう。齒磨が單なる 原報國のこの時、いま一層!齒磨の擱

女子では師範が六倍の激甚

器中等校の志願者數

自邸に落

つい

t: 松

井

公司都御庄石田身)は南苑の御殿

母の死も祖母の死も

明想に埋り血腥さかつた昨日。戦場に春を暖ぶ新芽が購え始めた。

二覧の佳話で遠覚の途上から本配へ響されたものである 舞く繋功と美談が生れてみるが、これは形骸是の練中日誌に咲いた 陣中日誌に咲いた佳話二篇

父の死も秘めて前進

獨り、故郷の空に默禱する木村上等兵

計日に組母し | 誌に続づた。 だがその関連 | 持兵の数額として部線長は関中日 | の理事会を生後に超って午前中間 | 電目に外閣後側員各三名その他は兵がその関連 | 持兵の数額として部線長は関中日 | の理事会を生後に超って午前中間 | 主席動剣員は日本人に決定、主た兵は武運に進って自らも御奉公に相道する夫を | 会第二日の決定に進づき二十七日 | 主席動剣員は日本人に決定、主た兵は武運に進

と説交のある任實書な野長八木郡、戦にしめた後、大肥が本勢に申告する 杯

採罪で検索させるなど被罪をカム一不服として上世中二十八日高等法一部守郡の事物員が發見本町戦へ居

国位をスラれた、東大門置き犯人

上押して

會宅の

遵突に引入れ

学

《松本孫青(か)は昭和十二年十二 長水費の暫山西駐在所に配移中

喀原郡南原邑下井里元巡查

上告薬却か

元巡查部長控訴の松本

一郎を利用して張を無質の管視謝[衛とも繋び]年を夏渡されこれを「陳邈があつたと視安のある任實繁経験長八木禄] | 郷したが、釜に法に同はれ一、二] が用かれ敬事と

ルンドの各学員出席、紫鸛を行つ、後から行はれる理事育並に二十人が設証問、タリンゲデルグ、致害・全部日本人と完全具合に有利に解していた木下東作博士以下三鵬正・『『トケト等の集合三年十の作詞を明られた木下東作博士以下三鵬正・『『トケト等の集合三年十の作詞を明られた木下東作博士を見いません。

一般級を推模に触せ取功を掛てく

押へてあるのを戦友が凌見、事の質兄重一氏は「この不幸は出征」

された小委員會は規約、配録委員、睦康大郎されてのた衛列問題も上職技に関する派事項条職を委託、関主張の大部分は承認され物に一【ペリ 廿七 日回数】東京大會融 「コン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

頭足 うべきものありと決定。日本

る強定であるが大體において無能

の轉向

支配人専多電氏は背廉症からの七日午後四時ころ京城本町ホテ

出た、彼女の関係な心に 門響に田頂し切々たる心情を腕へてたまるものか。とその足で西大

平安南道份川郎价川面電興里八二時權判決

品及贩地教物一切即此亦紹光來與有现金寶上多目下縣樂中依都合的有现金寶上多目下縣樂中依都合的

姓名在社 店

プラチナ時計道等時個八百

呂田貞勝君は

溺死と推定

平和タクシー

一、朝 前 金月子 百九十周八 水町二刀 十九四子 一流 一十九四子 一流 十九四子 一流 十九四子 一洋 一块 一

無採用 場質を設ける

一、最後ノ所達人所人 以上 電影光化門一川〇七番 (中) 東京 (中)

田和十二年七月十九 (李等) 京城市村一年七月十九 (李等) 京城市村 (李等) 宗城市村 (李等) 宗城市村 (李等) 宗林市村 (李等) 宗成市村 (李等) 宗林市村 (李等) 宗林市村 (李等) 宗林市村 (李等) 宗林市村 (李等) 宗林市村 (李等) 宗林市村 (李等) 宗林市 (李等) 宗林市村 (李等) 宗林市 (李等) 宋林市 (李等) 宋春) 宋林市 (李等) 宋林市 (李等) 宋林市 (李等) 宋春) 宋林市 (李等) 宋林市 (李等) 宋春) 宋林市 (李等) 宋春) 宋林市 (李等)

三二条公

大衆 向旅游和山下城市

時計を掏らる

昌慶苑離りに

たが東京大會に對する準備狀態は一日別他これる精育に上程位置を得

半島の銃後を

*動わると抑るやうな説の下か 中の弟に決して知らせるな、軍が

に触みが出來ては申請ない」と親

と思る力に向って能かに合李湖 を受け取ったのだ、家を駆る尚書上寄兵は獨り最太と贈れ故遠の 木材上等兵は取中に此重なる態報

した戦を何と思つたか改美に韓し、明、沈默軍事に離打つて來たこの たが切なる戦友の友情に暗然と | 族郷己を押へて来てゐたことも判 人と語った。腕を寄せて | 美酸は靴友の日から上官の耳に候

歌呼の鼠の中を死を決して故郷一渓の中に歌中日誌に認められた

で内鮮人一丸となつて同様に「頭話した で内鮮人一丸となって同様に「頭話した」といる歌歌のもので岩様佐長は早かこのことを内地の小學虫に停「速この暖館の一般景を会校見識に
「て内鮮人一丸となつて同様に「頭話した

深い版動を異へてゐる、このこと

り更生の生活に報道し飛動所内で生れ代つたやらに温和な人間とな

順上申書しを質問に提出して以来

日華ビル怪盗

この死成を解く解謝は城大同族四代したものと推定されてあるがたこの死成を解く解謝は城大同族四代したものと推定されてあるがた土の執刀で甘入日午後二時子から、 しょう り落り途中石で後風都を隠れ、襲した極端落宮田陸一氏長男馬勝君二 り落り途中石で後風都を隠れ、襲

これた死體の主京城古市町コセノーを散步中高さ五十尺の石道から優(既報)京城元町旭川中流。駿見一六日間を扱わた頭を抱へて同場版

石垣を滑り落ちて

が 分所に服師して のる因人の 類別 干島河船の烈々たる愛國の空情も

を関われているのでり配断しても買って……」との演響に直則 の気管が同封してあったのにけ け今日の けつ P)と R で り配断して

戦線の勇士が感激

は遠く上海最高でも厚くられ陸戦|関係散立運動が起るや軽光してた

季観を置んで開せると掲げてつか「が誤離に遭つてゐるのを同日午後一て脳光したか、が提納者とたつた翻ざある、古の「非が員の礼から甘三圓入りの観袋」した、水映像。

國語を知らぬ悲しさ

に比脱兎の如く注理し瞬前の振作

法學部=註以及的(數)
(西經學語-原與(或)(數)

一、作品書機が構造れて会社の有無い、一、年間一等が近極の主な記されて、一、年間一等が近極の主な記されて相等が通過の有無い。

第一生命保險相互會社

社員招聘

從軍運轉手を拒まる

求めた戦士の道だつた

東京等的 電話 2 三五八一 東京等的 電話 2 三五八一 東京等的 電話 2 三五八一

に燃えたのだ。御園のために一命一年能量であった。そのためには先 川来るだらうか」とたべこの一部一を捧げる道として選んだのが運 戦線から恩師へ感謝の手紙

へを励りつよ銃後の。守りに郵走,あらせるのは御率公に歌記するこ 幾して山 西歌称に 奮戦して、て來たが附近の人が漢と共に戰級

見に歸つ て來るぞ と勇ま しい音 の夫君にはሦめてひとり郷を押へ懸摩中超歴 影好出ま) に三人の愛 れ 軍弾水線かになつて は」と 取釈小様的縁の勇士奏田一雄者(廣島・げた身體、今東勇製の愛にほどさ 愛見の死も何のその

(既報)デバートの自制的題につ

諸事項を協定決議

長岩根据一氏とその数へ子中支派

事等を決定即日實施した

簡保巡回健康相談

常局の指示を仰ぐ **券除費出しは年一回、包装紙の現映寮等は當分自動地蔵、稲川**

娘所、銀行倉駐側からも出席、百

公認さる

 (五) 兵人び場職設測定委員長の名。
 (五) 請申であつたが、二十八日末少舎
 (五) 請申であつたが、二十八日末少舎
 (五) 請申であつたが、二十八日末少舎
 (五) 請申であつたが、二十八日末少舎
 (五) 前申であつたが、二十八日末少舎
 (五) 京田本大田
 (五) 万十大
 (五) 万十十大
 (五) て半島水上陸の尤貴を捕し、釜山一間の公認證が到底、これで鮮色の (長水路) ただっ

ソピックを二年後に払へ一て昭和十七年十二月まで向ふ五

これで鮮内は二つ

で京城南大門 悪权の練習場

人でした「半島の一女性としてど うずれば御殿の爲に一死御奉公が一 〇四ノ七七県遭受氏要女曹受難さ ロハンドル京規則医町一を掘り波女、

人士はぜひ「使解地震神由込白部型ドー・接近分離で進行を持つ、では、この形自動に関する情報となっている人士はぜひ「使解地震なれた。」と呼、この形自動呼車を持つを持つ。と呼、この形自動呼車を対対を映って 世ペーセントの機様投資機、住宅 「残計を競技」ようと北交機場に 地の王をといけれて居る で変計を競技しようと北交機場に | 野月第三分譲地| | 松に被抗の修務に強を打ち込むこ時月第三分譲地| | 松に被抗の修務に強を打ち込むこ **放に描いて胸をおどらせながら操** 女丈夫として賭け趣る自分の姿を

新しいものでは形行機の元

計員招聘

年度一ヶ年特別旅定/特典/シ 原語で自己 原島女子教 員養 水 所 (い正) 百名二部 (専正) 五拾名 4階学。

技術者を求む

吸齿科熊專門學校

弘中前工株式會社弘中前工株式會社

月日至月世日(十

名、第一高女が一百名に三百九十

五十七名、負傷百六十七名、電

往年度がの激起を以て鳴つた

九〇〇二十三三四

三倍から六倍

七百四十三名、隣南の三百七

柳原料昻騰ニ付會員相闘り己ム無ク値上ゲスル事ニ決議致シ

値

日ヨリ全鮮一齊ニ左記ノ通り實行仕候間此段謹告候也

受挺三付

金六圓

場計 宣箱二州 金参園四十銭

四(一ダース半人)和 全東国ナイーを

全鮮清酒業聯合會

昭和十三年三月一日

脳骨は影響に値する けふの天氣

女子 三面

・七ば、何れ劣らの猛烈な人學

入學試驗者雙

公倍の相も動らぬ地歌扱りである。

も廿八日受付を輔切つたが、志願、原薬商工。同高商、同法県の三校

100 1、100 に対人自攻政府及る初等が使の人 人の様子、五九人の核第一四人 へて持つ難しい四月の入屋式を前 さでの申込づは、ウロ川に対した。 はいの申込づは、一部時切ったが対力と

専門學校の志願數

たが、今回左の日程で仁川

日初音、四日龍仁、五日白出帯で記述し、被保留者の配置の

《來る六日/日曜》午前十時本社前集合・同午 四時本社前に購着するので家庭婦人の参加にも好都合です

◇京電大型優秀バス十一台に分乘して出發

金谷陵 東九陵

本

熱を睨へたい彼女ではあったが子 からだ」と続けるが如き変数の情 とすることさへも皆されず無数格 として除外されてしまった、

さつと紅湖がさした「きらだ、 ける思ひのす る胸を抱 いて家路 ●産婆生徒與 病外科療院

◇曹員一百名・會費一人二圓(風帯をとらぬ子出=六歳以下は無料) ○申込は會費を添へて本社事業部へ【滿員次第編切り】

の本校卒業生へ無難開業に対し、外産婆學校 病車門師

賞 家 階下八六八、三の目の別様とは、チカ及温突般所ものに、チカ及温突般所ものに、サカ及温突般所ものに、 のう度し、上止むなき事情發生の協議の主急居抜きの協議

日兄 皇の 国及見管採用量:表 元大設造の男子にて内地人を望むし 京城阿勝可一四 人を望むし

謥

丁子屋人事係

女子 サービネ係値や基集 で 金 キュの本 女店資料所入門通りコノーの京城府市大門通りコノーの政下献間時持条来談

総督守内廷局 一十八日文ハ三月一日ノ 一十八日文ハ三月一日ノ 一十八日文ハ三月一日ノ

ト入札

東田 前海の内地人にして 京城 駅 前 京城 駅 前 前半辺湾本大き上 前半辺湾本大き上

華山土木出張所

特別金元

は變化がたくつて淋しいんです

しだから、模様でも染めなける

そいだからず、は野式なのよ、

を売れば、

かりが三枚は必ずあつて、少し歌

お幣ひ月になると衣裳の染物は

たものを作ると一枚が二百回に

「ちつと早いけれども、名取りに

並木氏は本紙上前回は高部氏に一虎一撃山月高」の財長である。

面

人 🔷

る。黒大金(い)なら、自一以下 す、空景風の散態政策だからであ

ころこの登崙の奥味が點である。

もうぞんな管理をいひ

何か、松良に因んだ模様を染

時の早いは、またくく間に一生 子を名取りにしようと云つてくれ

丁三 になった概定で

まだ早いちゃありませんか」

のは、英大な名披露日の数目で、

第一放送

(東) 阿民歌語

念日親與より中繼々お利口なお

そのまっ女郎校は望まずに家元

であしくお願ひいたします」 が、然し、直ぐに迫つて来る と云ぞより外にはないのだった

備別建設の賃得時陸軍

蒸無斷上演映画化

美

郞

「外の者だら反對も出るが、徴ち

2 天木とか何とか云はれてふるだけ 午加木昨五五分 ニュース に、ケチ臭い試似る出来にかった 同七時 (万 (果) カボ (東) カボ (東

正年(宋)詩報、日用頁值段・鮮魚魚魚魚 野野五分(京) 琵琶 木村成 国八時(東) 岡唱と合唱—日比谷 松本 従雄

伊麥原 英子 トス の 英子 トス

関史制「宮町時代」 吉田切太郎 同二時(東)小學の時間「琴五」 五分 衛生跳復 (切鮮語

日油子供仲よしのタ

一、流光國本歌 三、流洲国意話「好朋友」 記 守 網 東京放广管絃樂園

機関を述べる



2智ひに出る衣裳の相談ばか

飯本語古所で食べ、一日の大牛」たら、私は選子に貰つて家元をつ



漁洲建國念託日 機5 日比谷公 會堂より中継

滿洲建國

汽船帐出加

兵の忠勇なる行動に對する感謝の の眞精神 本庄繁 四、満洲建國六ケ年間の行戦を明 日に苦ることに注意を喚起する 融強展の必然性を闡明する して本日正に建國六周年の記念

氏は白十一に考慮中である。それ することが原洋平和のためであり たる民族協和の領神によつて解決の様だ」 これことが忠思いる点単時長の様 機性に報ける所以なることを以

挨拶

手であつて、即ち此定石を採らが よいか、又は黒十二を十四がより 黒十二だと、以下黒十六と黒が後 は自十一に黒が次に示す巻考臘の

邇龗

駐日謝洲帝國大使領 二等秘密官 阮振鐸

音ら八重粒格の小鉢に顔を向け さこで高部氏は、今を繰りと呼 一、特殊の援助希望を述べ 先づ疑脳以來の日本の援助に

並木氏が明日巻楽園の途を辿ると 競性が無い。また本語の無人は は、自三との關係上、無十六には 「無我の醴"だが、肚裡をレント 四、東洋平和確立への希望を語る

| 混入も活躍する及第 と今日のと (ハ)新中華民國政府及び支那四 (イ)島軍の武選長久を踏り

浪速シカク.

5十六の秋だつた6 小學校を出る | く據つた意気見然。また自三に黒

る。されば白一に黒二と最時に高

提つて斯局は登場取であ

パアーを採れ

漫才(歝) お利口なお子さん

「、ソプラノ領性 関田 跛一 間一〇豊四五分(東)支売終ニュー Ⅰ〇時五五分(家)英語ニュース

とするので、勝五郎はやつと止め

(自ガマ田) ロサスキー (2) (自ガマ田) 世界に語る

强壯副來多古

んでしまった、物持ちの脚をされ

蜀大時10分(泉)コドモの新語

「独も、大方子供の著音製に注込」をたてゝ行くばかりた有紙に乗ったかつた。 ゆしは持つてゐた概』た初ふじ家も、今ではやつと生計

阿一時一五分 衛生調賞 午後〇時五分 吹奏様(レコード) 郷は違に死んで了る。接にこの話題つて来る。 併し重なる苦勢にお 新京より

同八時(東)積唱と合唱同八時(東)積唱と合唱を表現の分の一般演奏を表現した。 幻影 富田 一夫編曲 滿洲歌謠接賴曲

能はい毎りん病路器を下す 会話子園効 逆上を引下げ便通さとくし 男子芸芸

とる。となったか

大阪 髙 津 表

門筋

効能で賣れる

九二七南電・三七九阪替振

小じりになる

国九時 透鏡野談(二) 同八壁三〇分 你你要供唱 (前8・20) 新京ラデオ・オーケスト このる名曲十島曲を組合せ接換曲

同八時三〇分(東)受才 日北 田中 兵

連紅、新鮮、月花選、太湖船、モ に胡弓を加へた破跡で極めて連俗 々雨といつた曲が次々とボーブ

午煎一一時(東)小器生の時間

明清學、他女の舞。月下の戀、金

「地)明幹語ニュース(益 同人時(東) 簡英歌語 婦人の時間(前2時半)

九州郵船出帆廣告

本家セシVや伊藤 長兵衞

機大して (なつた

かぶつた感じになりません? ちょつと硬つた様な、うす皮を多、バニシングをねると顔が

(通經) 國務穩理大臣聯發官

同九時三〇分(末)時報・ニュー

同九時(大) 落節 毒々 ・ 明 ・ 神屋樂乃志外 ・ 同八時三〇分(城)長頃々頗道成 ・ 日本放送交聲樂鹽 女一生の化粧 と酷しも願ふものでありま

林明子

高藍高

で狙いた見鳥面館
『百姓達の織

て云つてゐるのだよ々そんなこ は無いでせう~とからいふもんだ んは御 利口ださら ですね

丁度女學生の方々も卒業則近にご

いいますので御巻者になればと思

化鮮門司阪神急行 一〇滿 盛 優秀的

三大阪商船號的机

九州郵船

五、支那部總も亦語が経営の理想、由來るんだよ」「すると僕は馬のかにし見聞不可分限係を張明する」「黄本によったます。たちましたます。 日なんだと 方概にはそんな別日な切ちず 上二一でんた事はないでせる 上一「そんなことはないでせる 5. 「候は歌遊なんかしてゐな 一そんなことは無いでせ が化粧法についてお話させて頂き

の代り切ちずんがお利口ですより 代理店

野口商 野口商會

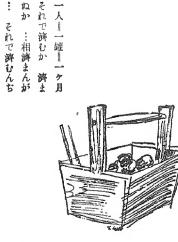
次郎長石松版日記 『勝五郎の義俠』 玉川勝太郎 配 水行(急行)每日 朝鮮汽船出帆廣告

の石松であつた。此處でお際に用 船県へ離は大海のかつを船の山、設河よい國系の番が匂ふて た三人連れは、頭を買つた領地 新聞島塩 大東丸 月分 新聞島塩 大東丸 月分 思山行(是行)每日午晚的

秦山 行(急行) 月廿回夜半十 《元山行山帆 》 山 行(急行) 月廿回夜半十 二時

M1313

やから 済まんのち





明心。清晰主要题:於于船可進絡 大連內地面行 日流进物拼日磁

へ に な な な び なつてゐるのです。 「小籔」になるのです。 この様に「ちりめんな」の様に るかといふと なぜ、そんなパニシングもあ

なのです。

とに成功したのです。分リスリンを使はないで作ると このクレームには、悪い石鹼

粉と同様パニシングの世界的はれるオリープで作つたのです。そして油の中で世界最高とい 發明といつてい」と思ふ。



20 30 総数 1.00 .75 人十 2.00 1.35 人間

店商吉友澤麗 社會式株

うど洗濯の時分るやうに、石鹸まぜて作るので、それにはちょ クリームは光々、水と油とを

いので、その方法で作つたから分を入れると、水と油が混り品 くないのはご承知でせう。 石鹼がヒフにもお化粧にもよ

る感じもないのです。

これ迄の半分量で使つて下さい。すぐ分るでせう。おなれになる迄やわらかくて變かもしれません。ことれ迄のベニシングと原料も製法もまるで違ふから

600以の9度・ディート育名店ニ育リ・協用四段9字・東京電布本目町伊東化型にれば化粧下。 斯くよくのばせば、白粉が歳くついて、永くもり通べニシングの方に(男小供も)四荒れ性の方や寒い時のバニ

4下郷の労客なく古くて服みやすいる一間の労産服用金額服用地でなない。 コー間の労産服用地額服用地に安全の一間の労産服用地額をはいる一個の労産の場合の対象がない。

ジ効いて・害がない